日ごろの備えが家族を守る－

これからむかえる 出水期 に備えよう

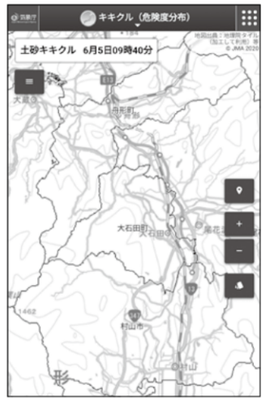
6月から10月は、集中豪雨や台風などで川が増水しやすい時期（出水期）です。国や県では、災害の危険度の高まりを5段階の色分けで地図上に表示する「キキクル（危険度分布）」や河川の水位情報を確認できる「山形県河川・砂防情報」、職場や自宅から河川の状況がわかる「河川のライブカメラ」など便利なツールを公開しています。災害発生の危険を察知し、安全なうちに避難するために活用しましょう。

「キキクル」へのアクセスはこちらの二次元コードから

キキクルの使い方

1 二次元コードからキキクルにアクセスいただくと地図が表示されます。

2 画面を操作して表示させたい地域に合わせます。



3 キキクルでは危険度が下記の５段階に色分けして表示されます。確認できる情報は３種類で、「土砂災害」「浸水害」「洪水害」から選ぶことができます。

- **「災害切迫」→ 黒色**
- **「危険」→ 紫色**
- **「警戒」→ 赤色**
- **「注意」→ 黄色**
- **「今後の情報等に留意」→ 無色**

⇒５段階の危険度のうち「極めて危険」を示す濃い紫色が出現した場合には、すでにその時点で命に危険が及ぶレベルの災害が発生してもおかしくないほどの状況ということを示します。

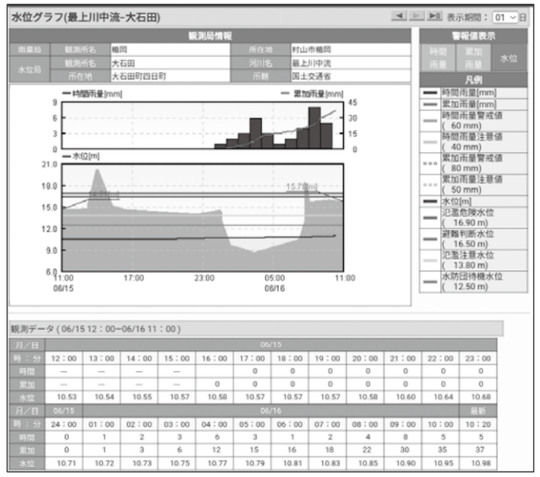
▲危険度の表示例

山形県河川・砂防情報（水位情報）の使い方

山形県河川・砂防情報では、県内の河川の水位情報や各観測地点での雨量情報を確認できます。台風などで大雨が降っているときの防災・避難判断などにお役立てください。

山形県河川・砂防情報（水位情報）へのアクセスはこちらの二次元コードから

▼二次元コードからアクセスいただくと、各水位観測所ごとに現在の水位を確認できます。



▶大橋付近の水位情報は、大石田町四日町最上川中流（大石田観測所）から確認できます。さらに上流の村山市南河島最上川（稲下観測所）の水位の動向を観察することで、大石田観測所における今後のおおよその水位動向を予測できます。

河川のライブカメラの使い方

国土交通省では、河川の水位や国道の路面状況をインターネット上で確認することができるライブカメラを設置しています。家や職場からでも、手軽に利用することができます。

河川のライブカメラへのアクセスはこちらの二次元コードから

▼二次元コードからアクセスいただくと、以下の画面が表示されます。

▼「地域から観測データを探す」を押して確認したい河川カメラを探します。

▼確認したい河川カメラを押すと以下の画面が表示され、映像を見ることができます。

町独自の災害情報発信ツールをご紹介

町では、町民の皆さんに災害情報を確実に伝達できるように、防災放送、Ｙａｈｏｏ！防災速報やＬＩＮＥなど各種情報伝達ツールを準備しています。

防災放送は屋内にいる場合や大雨など天候によっては、聞こえにくい場合があります。非常時に確実に情報を得ることができるように、Ｙａｈｏｏ！防災速報や町公式ＬＩＮＥの登録もしておきましょう。

町公式LINE

防災情報やイベント情報など各種行政情報を発信しています！

▲上の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。

防災放送確認ダイヤル

聞き逃した放送を聞き返せます！

0237−48−8444

Yahoo!防災速報

あらゆる災害情報をお知らせ！

▲App Store、Google Playからダウンロードしてご利用ください。

★お気軽にお問い合わせください！

■総務課　総務グループ
0237-35-2111（内線218）